



開会にあたりあいさつする中谷会長

中谷会長は開会あいさつで、農業会議が昭和29年8月の設立以来、70年にわたって活動の目標を「土地と人」対策に置いて活動してきたことを紹介。「ひとえに大阪府をはじめ各関係機関、団体のご支援、ご協力をいただいた賜物」と感謝を述べた。

また、集落座談会等できかにして地域の課題を乗り越えるかを協議している一方で、優良農地における大規模な農地転用が増加しており、市町村長に対する意見提出などを通じた農業理

解の醸成を呼び掛けた。さらに、70周年を契機とし、これまで以上に関係機関・団体との連携を密にして大阪農業の活性化と地域の実態に即した施策の実現に取り組み、決意を述べた。

大会には吉村大阪府知事よりお祝いのビデオメッセージが寄せられ、「発足以来、大阪農業の振興と農地行政の円滑な推進のために様々な活動を展開してこられた。70年という長きにわたる着実な歩みに心から敬意を表する」「更なる輝かしい歴史を刻まれていくことをお祈りする」とエールが送られた。

続いて、中谷大阪府議会議長、寺下大阪府農業協同組合連合会中央会・各連合会会長がそれぞれ祝辞を述べた。

大会の第1部では、農業会議設立70周年記念に係る農業委員会委員等表彰、永年在任者表彰、なにかわ農業賞が行われた(2面・7面に受賞者一覧)。

大阪府農業会議は10月24日、農業会議設立70周年記念大阪府農業委員会大会を大阪市内・大阪国際交流センターで開き、農業委員会委員等約700人、一般消費者約100人が参加した。

力強い大阪農業の実現に向けて

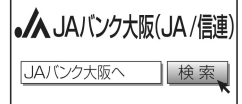
農業会議設立70周年記念

大阪府農業委員会大会



発行所
大阪府農業会議
大阪市中央区農人橋2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
http://www.agri-osaka.or.jp
発行人 中谷 清

年金の お受け取りは JAで



主な記事

- ◎なにかわ農業賞
4地域をけん引する
4経営体を表彰...2面
- ◎他の年金制度との比較で
農業者年金のメリットを解説
農業者年金加入推進
研修会...4面



北島議長

大会3議案を満場一致で採択

大会議長に北島泉北地区農委連合会会長(泉大津市農委会長)を選出。議事では集落座談会等を踏まえた大阪農業の活性化に向けた要請決議、食料・農業・農村基本計画策定等に関する要請決議、「地域の農地をを活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」の強化に関する申し合わせ決議がそれぞれ満場一致で採択された。

第2部では写真とともに大阪農業と農業会議の70年を振り返った後、東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏が「いのちはおくむ農と食―農業委員会への期待―」と題して講演した。

(田村)

風速計

工場等の現場に掲示されているハイインリッヒの法則に、1件の重大事故の背景には、29件の軽い事故と300件のヒヤリハット(事故の一步手前の出来事)があると書かれている。この原則は数こそ違えども、日本の農業・農政にも当てはまる。◆夏場にも消えた状況を見た時、これが他の食料にも派生する未来を想像した。近年の世界情勢の激変を目の当たりにするにつけ、特に食料の確保は待たない。◆自給率確保の観点から生産基盤である貴重な農地の保全・確保は必然であり、減少は見逃ごせない◆農業振興施策の推進と農地への規制強化は車の両輪である。特に、農振農用地及び第1種農地などの優良農地については、開発圧力に屈することなく、今後の規制緩和には、今一度立ち止まり、歯止めをかける必要があるのではないかと考える。

(増山)